

事業所名

児童発達支援センターこじか園

支援プログラム（午前グループ）

作成日

2025 年

2 月

1 日

法人（事業所）理念		「和顔愛語の精神で地域福祉に貢献する」						
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> ・児童が日常生活における基本的動作及び知識技能を習得し、並びに集団生活に適応することができるよう、当該児童の身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて、適切かつ効果的な支援を行います。 ・事業の実施に当たっては、児童及び利用者の希望を尊重した事業の提供ができるよう努めます。 ・事業の実施に当たっては、地域及び家族との結びつきを重視した運営を行い、関係市町村等と連携を図り、総合的なサービスの提供に努めます。 						
営業時間		9 時	30 分から	14 時	15 分まで	送迎実施の有無	あり なし	
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	<p>情緒の安定を図る 《活動内容：親子あそび、音楽リズム、シャボン玉、やりとりあそび、感覚刺激あそび等》</p> <p>基本的な生活スキルの獲得 《活動内容：食事、排泄、着脱等の自立に繋がる個別の支援》</p>						
	運動・感覚	<p>粗大運動を通して感覚の調整を図る。</p> <p>《活動内容：感覚刺激あそび、サーキット、マットあそび、ぶら下がりがあそび、シーツあそび、ジャンプあそび、引っ張りあそび、ハンモック、乗り物あそび等》</p> <p>微細運動を通して目と手の協応動作や、手や指先の操作性を高める。集中力を養う。達成感や成功体験を通して自信を育てる。</p> <p>《活動内容：シール貼り、コイン入れ、ひも通し、素材あそび、パズル、新聞あそび、豆あそび、粘土、色ぬり、お絵描き、線むすび等》</p>						
	認知・行動	<p>基本的概念の形成を養う。見分ける活動を通して物の照合や弁別力を養う（形・色・構成）。聞く、見る活動を通して、（傾聴姿勢、見る、聞く、待つ力を養い理解に繋げる等）。</p> <p>記憶活動（イメージして、覚えて、考えて行動する）力を養う。簡単な見立て活動を通して、イメージを膨らませ創造性を養う。</p> <p>《活動内容：物や色の照合あそび、数字あそび、集団ゲーム、カードあそび、パズル、型はめあそび、魚釣り、箱の中身はなに？、粘土、製作等》</p>						
	言語 コミュニケーション	<p>人とのやり取りの中でわかる言葉を育てる。自己表現手段を増やし、広げる。模倣や見立て遊びを広げる。</p> <p>《活動内容：自己紹介、シャボン玉、言葉あそび、ごっこあそび、音楽リズム、物の用途理解、順番遊び、ボールあそび等》</p>						
	人間関係 社会性	<p>人との関係（親子・大人・友だち）への興味や関心、関わり方等を育てる。自我の育ちと自立を促す。簡単なルールを理解して遊ぶ（物の扱い方や指示、順番を待つ等）。</p> <p>《活動内容：呼名、触れ合いあそび（二項関係）、リズムあそび、さあたたこう、やりとりあそび、ゴーストストップ、ごっこあそび、カードあそび、集団ゲームあそび等》</p>						
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者が子どもの特性を理解し、適切な関わり方を身に付けていく。 ・子育ての不安や悩みを早期に解消し、保護者の精神安定をはかる。 ・保護者同士の交流を深め、楽しく子育てできる環境をつくる。 ・きょうだい児に対する相談援助を行う。 			移行支援		<ul style="list-style-type: none"> ・地域の保育、教育等を受けられるように、移行先と支援内容や子どもの状態、保護者の意向についての伝達を行う。 ・進路や移行先の選択についての相談援助。 	
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> ・子どもや家庭に関わる関係機関との情報連携や調整、支援方法や環境調整等に関する会議の開催を行う。 ・未来はばたきネット事業の事務局として、県内の障害児通所支援事業所等へ、研修会の実施や情報共有を行う。 			職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> ・毎月、保育士研修を実施する。また、資格の取得や、専門的な研修会へ参加する等、自己研鑽を図り、支援の質の向上に努める。 	
主な行事等		<p>毎月：《誕生会、音楽療法、OT合同療育、避難訓練、親の会》</p> <p>年間行事：《ミニ運動会、たなばた会、ボディペインティング、秋まつり、こむぎ遊び、芋ほり、JR電車体験、食育行事、クリスマス会、まめまき会、卒園式》</p>						